

14年目の 報告

「東日本大震災の「現在地」を考える」

東日本大震災から14年目の今、
東北の浜や街で何が起きているのか。
今なお苦悩する地域住民。
見えなくなる当事者の思い。
相馬市出身のローカルジャーナリストが、
被災地であり続けている東北の現実を報告する。

2024
8/24 土

10:00～11:30 (受付 9:45～)

会場 浜松市防災学習センター 3F 講座室

対象 どなたでも

参加費無料

定員40名

応募多数時、
抽選

講師 寺島 英弥 氏

(ローカルジャーナリスト・尚絅学院大学客員教授)

福島県相馬市生まれ。河北新報社編集委員時代の2011年以来、東日本大震災、福島第一原発事故の被災地を歩き、当事者たちの声を伝えてきた。著書に『東日本大震災 遺族たちの終わらぬ旅／亡きわが子よ 悲傷もまた愛』（荒蝦夷）など。



申込

● ホームページ上の申込フォーム
右記のコードより ▶

※ 締切後、ご案内をメールにてお送りします。フォームに記載したアドレスが受信できるよう、設定をお願いいたします。



締切

2024年8月16日(金)

● 往復はがき郵送 [8月16日(金) 必着]

以下内容を往復はがきにご記入の上、当センターまでご郵送ください。

〒430-0941 浜松市中央区山下町192番地

①講座名 ②参加者氏名 ③年代 ④性別 ⑤郵便番号 ⑥住所 ⑦電話番号

※ 締切後、ご案内をはがきにてお送りします。

浜松市防災学習センター公式SNS

講座やイベントの最新情報を配信します！
ぜひ「友だち追加」や「フォロー」をしてくださいね♪



Facebook



X
(旧Twitter)



主催：浜松市防災学習センター 浜松市中央区山下町192(無料駐車場あり) 053-474-8555 <https://www.hamabosai.jp>

後援：静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、FMHaro!、ウィンディ